

鬼爻反吉成凶、主破財、若是退茹透出者、因退之慢而有所不及、進茹透出者、因進之過、反成不及、若是干透出支、不利外事、主有回還意、先動後靜、支透出干、不利內事、惟宜外動。

〔北山抄六〕軒廊御卜事

若當子日、或停神祇官、先令陰陽寮奉仕云々、依子日不下也、其六壬卜、尙又不快、非急事者、改日共令奉仕可宜。

〔江家次第第十八〕軒廊御卜

六壬卜忌日

子日

〔江談抄雜事二〕六壬占天番二十八宿可在天、而在地番不審事、

被命云、陰陽家事心被得如何、答云、於書籍者、大略隨分雖歷覽、不能委學、此間逢陰陽博士宗憲占事、少々所請候也云々、被命云、占事尤可被知事也、但番事能被學哉、番不審事在之也、天番可在廿八宿在地番、地番可在十二神在天番、如何、此事可被學也云々。

六壬占法

〔二占要略下〕吉凶占法

四課の法にて日と辰と處を二つにす、三傳を并て五處年命を加て六處、但年命は二處にかゝる、故七處となる、各類神を見て生克旺相をとりて占を決斷すべし、又行年を略して不用、唯天上の時天盤の占正時地盤の占大歲月建來人の方等を取て占ふ類、種々の説あり、

占法判斷の例二三を擧て之を示す、假令ば敵國より使來るに、未其善惡虛實を審にせざる時占之て、辰上の神日の上の神を制する時、其言信すべし、是客畏主なり、之に反して日上の神、辰上の神を克する時は、奸心を主る、其言信すべからず、又日上の神將朱雀天空を見れば、來情變あり、其言虚詐なり、信すべからず、賊兵至ると聞時、玄武白虎臨む所の神、日を克すれば、賊強なり、宜く